

4/18 五夜

「財務省は命への配慮を感じられない」

「財務省といつとも
命や生活をどう考
えていたのか知りたい

と、この間の財務省
(の公文書改ざん)を
めぐる動きを注意深く
見守ってきた。厚生
労働省の社会保障審議
会介護給付費分科会で

介護給付費分科会委員

森友問題を 引き批判

4日、田部井康夫委員
(認知症の人と家族の
会理事)が切り出す
と、会場に緊張が走り
ました。

財務省は、安倍政権

の事実上の利用制限に
は共通する問題がある
のではないか、と問う
たのです。

財務省は、安倍政権
の社会保障予算自然増
削減方針に沿い、昨年
来、訪問介護の生活援
助の利用制限を要求。

倍政権が10月から実施
しようとする介護保険
生活援助を一日1～2
回以上利用する場合、
ケアマネジャーに自治
体への届け出を義務付
けようとしており、利
用制限による被書が危
惧されています。

近畿財務局職員の自
殺という痛ましい事件
にまで至った「森友文
書」改ざん問題と、安
倍政権が10月から実施
しようとする介護保険
生活援助を一日1～2
回以上利用する場合、
じのことができなかっ
た」として続けまし
た。「同じように認知
症の人や、介護を必要
な問題にフタをする一
方で、社会保障切り捨
てたひた走る安倍政権
に重く突き刺さりました。

(真)

これを受け厚労省は、
わって失われた命に対
する配慮をほとんど感
らない」

この述べて利用制限
の「撤回」を求めた田
部井氏。発言は、民主
主義の根幹の文書改
ざん問題にフタをする一
方で、社会保障切り捨
てたひた走る安倍政権
に重く突き刺さりました。